

プロ野球選手への道 (常勝)

春日部市立備後小学校 六年 秋場 夢斗

「もしもし、今度一緒に野球の開幕戦を見に行かないか。」

とおじいちゃんから電話がかかってきた。僕は野球を見るのが小さい頃から好きだった。そして開幕戦を見る日をとっても楽しみにしていた。東京ドームの席について、選手たちの入場を見ていた。その時、僕は様々なことを心で感じた。それは、「自分も音楽を流して登場したいな」や「自分も登場してスタンドにボールを投げたいな」などたくさん心に浮かんできた。

プロ野球選手はともかくいい仕事なんだなと感じて僕は今まで悩み続けてきた。将来の夢がプロ野球選手に決まった。この時は、「よし、これから野球を頑張るぞ!」という気持ちが胸にあふれていた。

ロ野球選手になるには、「ドラフト会議」で指名される必要がある。このドラフトに、いい成績を残さなければいけない。プロ野球選手は、試合だけでなく、キャンプや子供に野球教室などたくさんの方事があるそう。プロ野球選手は少年などと同じく、練習をして、ミスを下を向かないことが大事。また、失敗したら修正をして何度も繰り返すことが大事とインターネットに書いてあった。

プロ野球選手の仕事について分かった所では、ライフプランを書いてみることにした。今、僕の目標は硬式野球チームに入るといふ少しハードな目標だと分かった。そのためには、どう努力したら良いのかを考えるのがとても大切だと分かった。その努力は、毎日、素振りを一〇〇回して、腹筋、背筋、腕立てなどをすることだ。また、ライフプランを書く

いているうちにプロ野球選手になるという大きな目標の達成のためには、たくさんの時間とお金がかかることに気づいた。今の僕はまだ、四番バッターだとしても打率が低く本当にプロ野球選手になれるか不安になった。しかし、それで夢を変えてはいけなと思う。だからこそ、たくさん努力していきたいと、心に決めた。そして、ライフプランが完成。夢に向かっていく上で頑張りたいことをたくさん書き込んだ。このライフプランは今、六年生の気持ちを残すものとして、大切だろうと感じた。

きつともまくいかないこともあるだろう。しかし、そんな中であきらめず今でいい上を向いてプレーをしていくことが大切であると思う。僕は「常勝」という漢字を常に胸に刻んでプレーをしている。自分ならできる。そう思ってプロ野球選手という輝いている夢に向かって、あきらめないで上だけを向いて頑張っていきたい。「僕が中心となって、みんな笑顔の試合をつくっていくぞ!」

秋場 夢斗 のライフプラン

将来なにになりたいか? プロ野球選手

その理由: プロ野球の好きな選手がすごいプレーをしてかっこよかったから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	12(小6)	塾に行ったり、野球チームでがんばる。小学校卒業	塾などの月謝
2023年	13(中1)	中学校入学 硬式野球チームに入って猛特訓	硬式野球チームの月謝
2024年	14(中2)	11ヒッターになって試合の時に抑えられるように1-ヒットノーランを達成するように配球を考え、頭も良くする。	
2025年	15(中3)	中学校卒業 高校受験に向けて勉強	
2026年	16(高1)	共栄高校入学 1年生から試合でレギュラーを取れるように真剣に努力してがんばる。	高校の学費
2027年	17(高2)	勉強と野球をがんばる。甲子園で4番で出場して点を多くとる。柵越えホームランを打つ。	
2028年	18(高3)	高校生活最後の野球だから、みんなと高校野球に出て優勝する。プロ野球選手になれる強い体をつくる。	
2029年	19	ドラフト会議で指名され、プロデビュー	生活費・食事代
2030年	20	ホームランを沢山打って1軍で登録してもらい、小谷吉果を残す。大谷選手のような二刀流を目指す。	生活費・食事代・スポーツトレーナーにマッサージをもらう時のお金など
2031年	21	最優秀防御率やホームラン王になる。他の選手たちとタイトル争いをする。	
2032年	22	チームのみんなと一緒にトレーニングをしたりして強い体にする。ホームランを打てるイ本と完投できる体をつくる。	
2033年	23	強い体づくりを続けて、ホームランダービーで優勝する。1日の打席に1本はホームランを打てるようにする。	
2034年	24	チームのキャプテンに自分のできていないことを聞いてもっとよくなるようにする。	
2035年	25	チームの選手たちと一緒に自分たちの足りない点を見つけあってもっと強い体づくりをする。	
2036年	26	チームのキャプテンになってチーム全員がうまく楽しくプレーできるようにする。	
2037年	27	キャプテンとして責任を持つ。マナーに望み、チームの全員の身体になれるようにヒットやホームランをたくさん打つ。	
2046年	36	投手と打者の二刀流で完投や全打席ヒットで、毎日連続して、猛打賞を獲得する。	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!